

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	名古屋市立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナゴヤシリツダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	愛知県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	公立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	学外実務プロジェクト
	学部・研究科等名	芸術工学研究科
	担当教職員名・役職	水野みか子 教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	22
	受入企業等数	27
	受入企業等名	株式会社TIS&PARTNERS中日設計株式会社株式会社日建設計株式会社アール・アイ・エー東京支社株式会社アイダアトリエトアーキテクト 島田陽建築設計事務所MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO株式会社 梓設計TSCアーキテクト株式会社 青島設計東畑建築事務所株式会社テレデザイン一級建築士事務所成瀬・猪熊建築設計事務所株式会社竹中工務店株式会社浦野設計株式会社 青島設計遠藤克彦建築研究所株式会社ラ・カーサ(株)シーラフランス アンド アソシエイツ高砂熱学工業新菱冷熱工業株式会社株式会社類設計室山口情報芸術センター[YCAM]株式会社山一ハガネ株式会社BADGE株式会社ブランディング名古屋市博物館
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	広告媒体のデザイン、制作補助、建築設計に関わる全般的な作業に従事・実習
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	大学院博士前期課程 1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	6
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学院で修得する知識が実務でどのように活かされるかを理解させ、理論と実務を関連付けるために企業やデザイン事務所、建築事務所などに出向き、実務を経験する学外実務プロジェクトを実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	

	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	受入企業先に関する自己学習と大学でのオリエンテーション
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	報告書と実習日誌の作成、学内発表会の実施
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実務中に指導教員による成果の確認
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	報告書の作成と学内発表会の実施
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	6週間(土日を除く)
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	10月2日より11月10日までの6週間
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業先と受入日の調整と、学生の評価について指導責任者より評定書を返送してもらっている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済
問い合わせ先	大学等名	名古屋市立大学
	担当部署名	芸術工学部事務室
	担当者役職名	
	担当者氏名	岡田富貴
	電話番号	052-721-1225
	メールアドレス	jimu201@sda.nagoya-cu.ac.jp